



取手の名坂 12 選にも選ばれた曲線の美しい「野々井の坂道」

# 取手の 坂道散策 ミニガイド

取手の坂道愛好会

## 取手の坂道散策について

～ 取手の坂道を散策してみたいと考えている皆さんへ ～

坂道には、平らな道にない魅力があります。そのことを幸田露伴の孫にあたる青木 玉は次のように語っています。

「坂道はどれ一つとして同じ表情のものではなく、上るときも、下るときも、平らな土地にはない人の心を誘うものがある」 随筆集「上り坂下り坂」より

取手市内には、坂道愛好会で調べたところだけでも400近い坂道があることがわかりました(2015年調査)が、確かに一つひとつの坂に違った表情や趣があり、そうした違いを感じながら歩くことは坂道散策の面白味のひとつといえます。

坂道愛好会では市内を15の地区に分け、地区毎の散策コースを考えてみました。本小冊子ではそのすべてを紹介できませんが、特にお勧めの3つのコースを紹介することとしました。取手駅周辺、岡・下高井地区、小文間地区で皆さんにも一度は歩いていただきたいと自信をもってお勧めします。なお、他の地区のコースも知りたいという方には2012年に坂道愛好会で作成した「**坂道散策コースマップ・ファイル**」をご紹介します。こうした坂道散策を通じて、皆さんが取手の魅力を再発見されると共に、ご自身の健康増進にも役立たせていただければ幸いです。

取手の坂道愛好会は、2003年に発足し、2023年は20年目を迎えますが、これまでさまざまな活動を行ってきました。会員の高齢化が進むなかでも、坂道散策を活動の中心に据え、坂道に関する資料の作成や取手駅東西通路の市民ギャラリーに毎年活動内容を展示して、市民の皆さんへのPRを続けてきました。その他、市や諸団体と協力して市内12ヶ所の坂道に道標を建立しています。そして2021年に、これまでの活動を総括した記念誌「**取手の坂道あれこれ**」を発刊しましたが、現在、取手・藤代両図書館で閲覧や貸出が可能なおうえ、「いきいきネットとりで」の「取手の坂道愛好会」で検索も出来ますので内容をご覧になれます。更に、市民向けに「**取手の坂道散策ミニガイド**」や取手市健康増進部健康づくり推進課や取手第二高等学校の皆さんとコラボで作成した「**ぷらっと取手駅周辺散策マップ**」も併せて掲載しましたのでぜひご覧ください。

(取手の坂道愛好会連絡先) 会長 酒井 達夫 (電話) 090-8747-4242

メール [tatsuo.sakai@nifty.com](mailto:tatsuo.sakai@nifty.com)

# 3か所の散策コースマップ

坂道愛好会が調べた15地区(一部地区は合算)の坂道の数(括弧内) 総数370

西側から 市之代(6) 上高井・貝塚(12) 戸頭(12) 米ノ井(22)

**岡・下高井(20)** 野々井(22) 寺田・稲・西(30)

新取手・ゆめみ野(20) 本郷・駒場(34) 白山・新町(52)

井野台・中原 及び 井野・井野台(合計で47)

**台宿・東・取手(取手駅周辺)(65)** **小文間西・東(28)**

ミニガイドで紹介するのは赤字枠の3地区の散策コース

## 15か所の散策コース(2012)



## 取手駅周辺散策コース

取手駅の東口から東に向かって台地が形成されている。この辺りは昔台宿村と呼ばれ、かつては佐倉藩（千葉）の飛び地であった所である本コースはその台地の周辺の坂道と名所・旧跡を周回するコースである。途中青線のようにコースを短縮したり、少し寄り道をしたり、又周回は右、左、どちら周りでも OK です。全行程は約 4 km、ゆっくり歩いても 2 時間のコースである。

「コース」取手駅東口 → 「長禅寺山門・三世堂」「新四国相馬霊場札所 1, 5, 8 8 番」  
 → ①「峠坂」→ ②「さくら坂」→ ③「神明坂」→ ④「台宿坂」ここから坂を下って本陣、  
 八坂神社、利根川土手と寄り道も可 → 取手二高、⑤取手小学校を經由 → ⑥「蛇坂」  
 → ⑦「榎坂」→ ⑧クランク坂 → ⑨「山中坂」→ ⑩「本多作左衛門の墳墓」→ 「6 1 番  
 札所」→ 「井野天満神社」「3 1 番札所」→ 「2 0 番札所」→ ⑪「雁耕坂」→ ⑫  
 「治助坂」→ 取手駅西口





① 峠坂



② さくら坂



③ 神明坂



④ 台宿坂



⑤ 取手小



⑥ へび坂



⑦ 榎坂



⑧ クランク坂



⑨ 山中坂上



⑩ 本多作左の墳墓へ上がる坂



⑪ 雁耕坂



⑫ 治助坂



長禅寺山門



長禅寺三世堂



本陣



八坂神社



本多作左衛門の墳墓



井野天満宮

## 岡・下高井散策コース

小貝川の水を堰で止め大池のように広がる岡堰、バックには筑波山や遠く日光連山を眺めることが出来「茨城百景」にも選ばれる。周りには「岡神社」、将門ゆかりの桔梗館あと、「仏島山古墳」や「延命寺」、桜が素晴らしい「さくら荘」「水神岬公園」、人通りの少ない静かな下高井の集落を歩き「妙見八幡宮」「お大師札所 52番」「高井城城郭跡」四季折々色々な花が楽しめる「高井城址公園」で一服、「地藏ケヤキ」で有名な「高源寺・お大師札所 49番」「香取八坂神社」など見所いっぱいの散策コースである。

「コース」JR 取手駅西口 (③バス停、守谷東口・谷田部車庫行き) — 岡南 (宗仁会病院前) 下車 — 「桔梗田」 — 「岡神社」 — 「仏島山古墳」 — 「延命寺」 — 「さくら荘」 — 「茨城百景碑」 — 「水神岬公園」 — 「妙見八幡宮」 — 「お大師札所 52番」 — 「高井城城郭跡」 — 「高井城址公園」 — 「高源寺 (地藏ケヤキ) ・お大師札所 49番」 — 「香取八坂神社」 — 関鉄ゆめみ野駅 — (関鉄取手行き) — 取手駅



春の桜と秋の紅葉が素晴らしいコース（岡神社から高源寺への散策コース）※順番縦



岡南バス停から用水路沿いの道を岡神社に向かう



岡堰の「水神岬公園」



「高井城址公園」後ろの森の中に城郭があった



岡神社近くに「桔梗姫入水の地」



小貝川沿いの道から下高井の集落に上がる入口



「高井城址公園」から「高源寺」に向かう坂



大日山古墳の上にひっそりと建つ「岡神社」



下高井の集落に上がる坂道



「地藏ケヤキ」で有名な「高源寺」



仏島山古墳から岡神社に上る坂



集落の中、静かに佇む「妙見八幡宮」



高源寺境内にある樹齢  
1600年の「地藏ケヤキ」



平将門「石の祠」



「仏島山古墳」



「高井城城郭」跡 お大師札所 52 番近く



杉並木が綺麗な「香取八坂神社」



春は桜が見事な「さくら荘」

## 取手の奥座敷 小文間散策コース

取手の東に位置し利根川と相馬二万石の田圃に挟まれた台地で形成される小文間は、「取手の奥座敷」とも言われ名所旧跡も多く、自然もまだまだ沢山残っている素晴らしい所です。コースは小文間の東端にある「動坂」下の戸田井バス停から「白山神社・西光院」、稲穂が輝く秋の相馬二万石の美田のビューポイントや、春の桜のトンネルが素晴らしい「大日坂」、福永寺の境内にある「中妻貝塚」など見所はいっぱい。また我々の建立した道標のある5つの坂道は、風情もあり取手の名坂とも言えこのコースの見所でもある。

「コース」取手駅東口前（2番バス停北方車庫方面行き）→戸田井橋バス停下車→「西光院祀16・64番札所・白山神社」→「相馬二万石の美田ビューポイント」→「阿弥陀堂祀18番」→「春日神社」→「大日坂」→「大日堂祀72番・百庚申」→「稲荷大明神」→「福永寺・中妻貝塚」→「勘右衛門坂」→「香取神社」→「東谷寺祀66番」→「直右衛門坂」→「宗四郎坂」→「首切り地蔵」→「旧小文間小学校」→小文間公民館バス停→取手駅東口前



取手の奥座敷 史跡を巡る小文間の東側散策コース ※順番縦



「西光院 卍 16 番・64 番札所」



大日坂の上部にある「大日堂・百庚申」



福永寺前の「勘右衛門坂」(カンニモ坂)



「白山神社」



春さくらのトンネルが出来る「大日坂」



「香取神社」小文間公民館裏



相馬二万石の美田と筑波山の「ビューポイント」



福永寺境内の一角にある「中妻貝塚」



「東谷寺・卍 66 番札所」



「阿弥陀堂卍 18 番札所」



「八幡稲荷大明神」地面には貝殻が一杯



東谷寺の近く利根川に下る「直右衛門坂」



「春日神社」静かな雰囲気 現在新田部落の氏神



「福永寺・毘沙門天・卍 63 番」



旧小文間小学校前にある 「首切り地藏」

# 取手の名坂 12 選

## 取手の坂道愛好会会員推薦

取手の名坂について:

坂道にはいろいろな顔があります。傾斜の急緩、湾曲の美しさ、風情・雰囲気の良い、景観の見事さ階段坂のような特徴ある形状、歴史が漂う等で色分けするのも坂道の楽しみ方の一つになります。

そこで、坂道愛好会では、こうした坂道の魅力を評価して、これまで400近くある市内の坂道の中で特に魅力度の高い坂道を選んで「取手の名坂」として小冊子や市民ギャラリーの展示等で繰り返し市民の皆さんに紹介してきました。そして、最近の市民ギャラリー展示では、A2版に拡大した写真で「取手の名坂12選」と銘打った12箇所の魅力ある坂道を皆さんにご覧いただきましたが、このミニガイドでも取手の宝ともいえるこれら12の名坂を改めてご紹介します。





① 戸頭「七里ヶ渡しへの坂」写真は逆に利根川側から戸頭神社に向かって上る



③ 野々井「野々井の坂」白山神社近くの集落から田圃に下る美しい曲線を描く坂



⑤ 稲「稲の急坂」ふれあい道路から稲の集落に上がる

② 下高井「高源寺への坂」高井城址公園から上がる坂 春の桜、秋の紅葉が見事



④ 岡「岡神社への坂」自然豊かで静かな坂



⑥ 白山「銀杏坂」ふれあい道路中央タウンに向かい上下する坂 秋の銀杏並木は絶景





⑦ 駒場「東公園の階段坂」坂上の公園からは筑波山が眺められる



⑨ 台宿「さくら坂」坂上から取手駅東口に下る雄大な坂 写真の桜は昔の桜並木の名残



⑪ 台宿 本多作左衛門の墳墓に上る長い坂 16°の勾配をもつ急坂

⑧ 新町「石引の坂」坂上からは眼下に広がる利根川や遠方の富士山が眺められる



⑩ 台宿「神明坂」坂の上下の両脇には古い石の道標が建つ 取手本陣の裏手



⑫ 小文間「大日坂」大日堂、百庚申塚の前の坂 春さくらのトンネルは見事



# 取手の坂道愛好会建立の道標のある坂道

取手には400近くの坂道がありますが、名称・愛称の付いている坂道は僅かしかありません。更に、道標の建っている坂道はほんの少しです。そうした中で、愛好会では、取手市や地区市民の協力を得ながら、主要な坂道に名称を付けた上で、道標を建設する活動を続けてきました。

坂道に命名して道標を12箇所(16基)建てるに至った経緯の紹介

- I期 2007年(平成19年) さくら坂(2基)、雁耕坂(2基)、治助坂(2基)  
取手市の補助金、取手ライオンズクラブからの寄付を受ける
- II期 2013年(平成25年) 馬坂、勘右衛門坂、直右衛門坂、大日坂、動坂  
取手市の補助金、取手大利根ライオンズクラブ、小文間の企業、寺社からの寄付を受ける
- III期 2014年(平成26年) 台宿坂、榎坂、山中坂、銀杏坂(2基)



## 取手の坂道愛好会建立

## 道標のある坂道 12 選



「治助坂」昔から治助坂と言われ、その謂れはいくつかあるが定かなものはない。



「さくら坂」昔の桜並木の名残の1本が坂の上部にあり、坂の途中には佐倉道と言う昔の街道が横切っているのでさくら坂と命名し道標を建てる。



「雁耕坂」昔この辺りの台地に雁が舞い降り畑をつつく様子から雁耕地と呼ばれていた。雁耕坂と命名し道標を建てる。



「馬坂」昔この坂を馬車が昇って行ったのだろうか？ 近くに「馬頭観音」があり関連があるのだろう。



「勘右衛門坂」正面に筑波山が見えるこの坂は坂沿いの林勘右衛門家の名前をとってつけられた。



「大日坂」坂の上に大日如来を祀った大日堂があり、この名前がついた。昔は小文間の集落を横切る幹線道路だった。



「直右衛門坂」坂の上に海老原直右衛門さんのお宅がある。



「動坂」全国に動坂は多く、不動尊との関係で「不動坂」と呼ばれ略されて「動坂」と言われるようになったようだ。この坂道近くにも不動尊を祀るお堂があったのだろうか。



「銀杏坂」ふれあい道路にあるこの坂道の上りと下りの両側の銀杏並木が美しい。2014年名前を付けて道標を建てた。



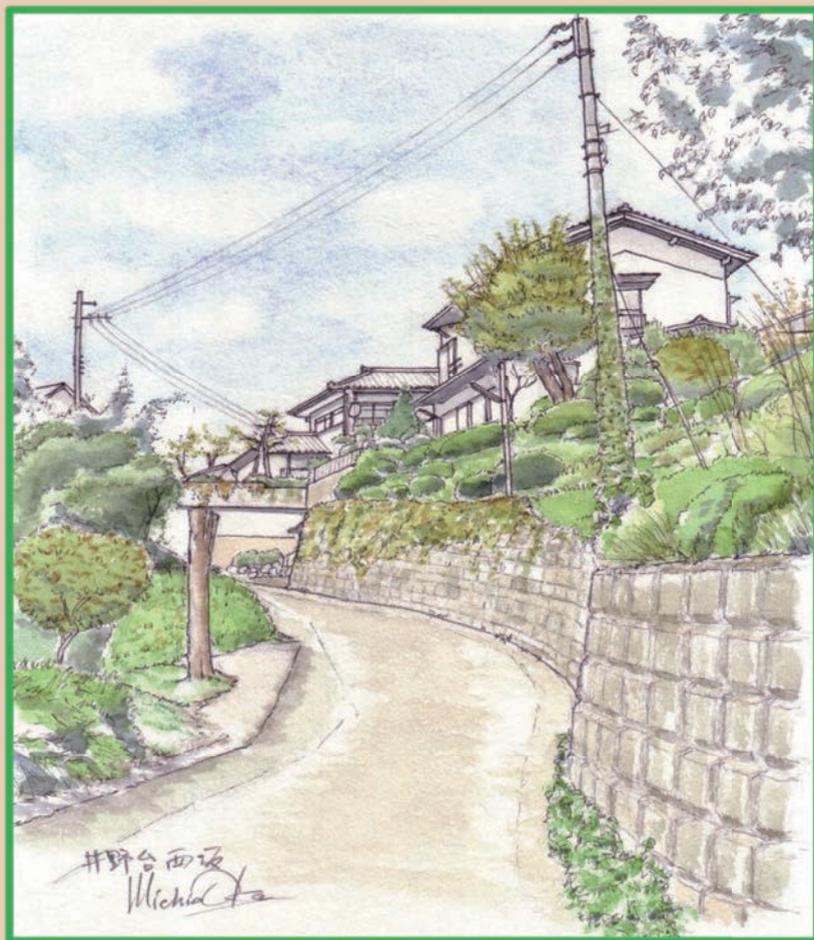
「台宿坂」名前を付けて2014年11月に道標を立てる。明治時代は台宿村の主要な道路だった。今よりも急峻であったため台宿大坂とも云われていたという。



「山中坂」名前を付けて2014年11月に道標を立てる。この辺りは三方を山に囲まれた地形から「三溪望」とも云われ、この辺りの地名が「字山中坪」であったことから命名した。



「榎坂」名前を付けて2014年11月に道標を立てる。坂下の水路には小さな「榎橋」がかかっている。この辺りの地名が「字榎下」だったこともあり「榎坂」と命名した。



岡会員のスケッチ画「井野台西坂」